



發行日 五月十五日廿五日
郵定 價 一月一元二角
代用 增 一月一元二角

町村の政務

日暮れて道遠しの感あり

社會組織の愈々複雑となり少し其結果として現狀は固有り付き町村當局者の椅子を占むるあり、或は町村會手時々方向を失ひ或は覆没感情判斷、選擇等が鮮かに間は多き状態になつて來た

投稿

大金持は大金を使へ

富豪諸君よ、諸には思はない、我々同胞の君が諸君の智慧諸君が自分の働きて大金持才覺で大金持になつた事に就ては喜ぶ

歓迎

無産階級の聲を聞け

我々は一視同仁ならんば夫は大いに心が至だ大金持だからならぬ者だと云はなければと云つて外國人ならぬ、我々は大金持の

大金持だから憎まれるの公共と國家發展のために大金持だから憎まれるの公共と國家發展のために大金持だから憎まれるの公共と國家發展のために

東北實業新聞社

本社は既に約六ヶ年間無代配布を續けて來たが来る七月より一般讀者の購讀料を頂戴する事とする地方の方々は半ヶ年分或は一年分の購讀料を前納願ます本社經營援助の意味で!

社告

磐城無盡商會 基礎堅實にして信用高き 磐城無盡商會 基礎堅實にして信用高き 磐城無盡商會 基礎堅實にして信用高き

株式會社磐越銀行

警城の武藤山治、財界の大く發揮して居る。立物たる中野甲藏氏の頭取本店を平町に置き、支店出たる銀行は即ち此磐越銀行張所を湯本町、好間、泉、郡役所通り南に、南町本通り活躍振りを示して居る。

平銀行の經營振り

古い歴史が物語る 名望家山崎三郎氏の頭取頗る好感を興へ一般から喜ぶのである平銀行は創立最も古ばれて居る。

鈴木醫院開業

この度植田町に開業せられた鈴木醫院は鈴木醫院主任鈴木亮氏地方病者の救済に濟生の實を擧げる相である。

女學生

萬人に好かる、心から友の幸を喜ぶ女學生。常に微笑を堪へてゐる女學生。どこまでも深く切に氣の利いた女學生。

病者の福音 鈴木醫院開業 鈴木醫院主任鈴木亮氏地方病者の救済に濟生の實を擧げる相である。

重役連の使ひ込みから解散 社長及清算人の差押と機巧

株式植田商事の醜状暴露

大正八年十月廿二日商號登千圓
記第十一號に依り設立され五千元
たる株式植田商事は質五千五百圓
實ある創立にあらず従つて
其經過も不良にして會社の
重役連及其他の關係者が會
社を喰ひ潰し資本金を鵜飲
みに濫費した結果が遂に解
散の破目に陥り清算人の整
理に待たねばならぬ其醜態
を本社は率直に忌憚なく暴
露せるは既報の通りである
が其清算整理の結果

磯原銀行 公道より断じて許すべきものである。紙面の都合上
和田龍太郎のでない。
個人借入
平木材株式會社
平 銀行
警東銀行
吉野金次郎
大正十四年二月七日内五
百圓東京にて内入
四百圓
佐川正雄
大正十四年七月廿四日利
濟

鬼が出るか蛇が
出るか刮目に價
すべきもので各
株主を擁護すべ
く一大警戒を要
すべきものであ
る。

吉野勘次郎は清
算人たる責任を
忘れ自己の債務
を棒引に持株を
賣却して憚る色
なく大言壯語の
其面悪さは決し
て閑過す可から
ざる所である。

小鳥二羽以上
飼つてはならぬ
賣買を禁じられて
小鳥屋上つたり
八釜しくなつた禁
鳥取締り

平信用組合
十週年祝

平町商況

自作農創設の
資金貸付け
正 中野洋品店

平信用組合では十週年紀念
祝賀式を今廿五日午後一時
より平館に於て開催開會の
辭に次で組合長の大谷久藏
氏の式辭事業報告あり功勞
者に對しては謝狀紀念品の
贈呈あり續いて來賓の祝詞
又受賞者の答辭等あり閉式
後餘興として活動寫眞を觀
覽し閉會したが頗る盛會で
あつた。

平町商況
婦人絹張洋傘 三圓ヨリ六七圓
女學生用白洋傘 一圓四十錢二圓
一文字麥帽子 五十錢一圓五十錢
ワイシャツ 一圓八十錢二圓六十錢
メリヤスシャツ 四十錢ヨリ十圓位
ハンモック付 一丈物一圓七十錢
子供服 一圓五十錢五六十圓

自作農創設の
資金貸付け
福高縣では自作農創設維持
を奨励する爲め本年度中に
二十萬圓の低利資金を借入
れ縣下の農民にして田地を
買入れる者に對して一戸二

法律は事實婚を
夫婦と認め
入籍如何は第二となる
改正される親族法

現在行はれて居る我國の民出のない以上婚姻其ものの
法々典の中其親族法は明治成立を認め居ない、これ
三十一一年に公布實施されたは學者の云ふ要式行爲で即
ち今から三つ二十年一定の形式に従つてな
る昔に於ては實際に立案起なければその行爲は全然法
草されたのはそれよりも法律上の効力を發生しないの
つと前の事であるから現在である然るに從來この事は
の事情に適應せぬ規定や、甚だ輕視されて居つて唯結
その當時でも事實上適切で 婚式を挙げただけで立派に
ない爲めに様々の煩雜や不 婚姻は成立したものと考へ
合理に苦しんだ規定の數多 られ居るの如きは單に第二
情になつて來たので現在法 籍法上にか考へて居ない、
制審議會なるものが設けら 普通「籍を入れる」など、
れ民法改正法案の審理を行 云つて居るに見ても此の考
ひつゝあるが同會は今や親 居るかよく分る、結婚式
族法の審議を終り次で此の 席上で媒酌人が「萬事滯
期から相續法の審理を始め の席上「家」と云ふ事實を
るやうである、今度の改正 りなく濟みまして誠に目
案で最も人目を惹き又一般 出度い事」と挨拶するの
を持つのは婚姻の成立に關 なく切型であるが實は滯り
する規定であらう、その最ら 云へば大事な婚姻其もの
も著るしい点は第一に改正 が未だ成立しないので其後
案は婚姻を以て無式行爲と 如何に長い間事實上夫婦關
した事である、現行の民法 係が持續しやうとも、他人
は婚姻の成立要件として其 が見て立派な夫婦であり、
の七七五條に「婚姻は之を 當人同志又それを信じて疑
戸籍に届出づるに因り其効 はないにしろ、一旦夫婦關
力を生ず」と云つて此の届 係が法律上の問題となつた



活版所
電話 二六八

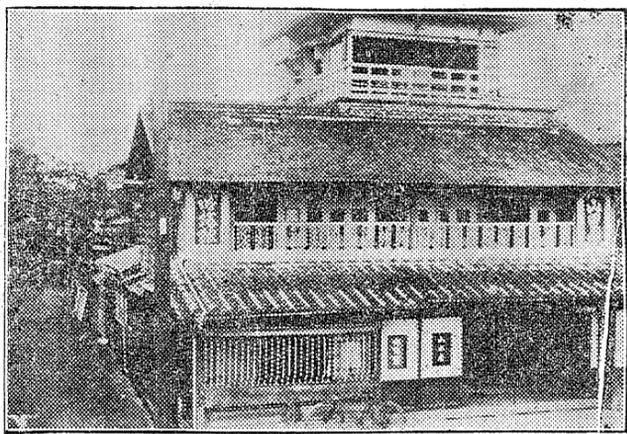
地元より預金吸集の 第七銀行の暴状

この疲弊せる事業界、このある、何分それに威張り散
疲勞せる地方民より店開らして頭風とは、反省一番
設以來今迄約五十萬圓余すべきであらう、五月の預
（前號一ヶ月に約五十萬圓金貸付の数字を見て又改め
宛のは誤植に付茲に訂正す）地方愛のために一般民衆
の預金を本店に持去るとの覺醒を促し金融上の圓滑
支店開設は預金吸集のためを計り産業の發達を助長増
に没頭すると云ふも過言で進せしめねばならぬ。
はあるまい世評に曰く第七銀行はよく集めよ
の支店長は近所隣に顔も見く貸付くるの主義で預金の
せすお高くごまつて何様の割合に相當に貸付けて居る
氣持だ面悪いと口々に言は一般より非難もなく評判が
れてゐる一体銀行屋は客商より支店長佐藤省一郎氏始
賣であ客本位で利鞘を取るり行員一同は頗る親切丁寧
御蔭で鼻の下を浸すこれお愛嬌たつぷりの營業振りを先
客本位にせねばならぬので無難であらう。

肉感的な夏が来て 不良少年少女狩り

警察で取締る家庭でも御注意
平町の此頃も矢張り夏らし此等の手に落ちたら最後、
い氣分が漂ふやうになつたさう、弄ばれた末捨てら
總ての樹木が密生して杜のれて了ふか金品を巻上げて
都を現出しつゝある此の期捨てられるか、されるので
節か例の不良少年少女が跋女學生を装ふ不良看護婦だ
層する好機會なのだ夏はすの不良青年の好手段である
べてが赤裸々になる、従つて野外の密會で夕涼みに
て肉感的になつて来る、そ散歩に夏季になると盛んに
こで不良少年等が盛に活躍する何れも不良組である公
を遣るのである若い女は、園や新川畔や舊城跡邊は幾
こそ更に薄物を着て豊潤な組となく横行するやうであ
肉体系を露はし男をチャヤ、親の目を忍んで戀の歡
ムする不良少年少女等は夏樂に耽ることは如何にも危
の夜の活動寫眞館や夜店或、これが將來を誤る第
は人込の中で手を握つたり一步であるから警察では大
秋波を送つたりして盛んに概將來を戒めて放還するそ
魔の手を伸ばすのであるがうだが是等の悪風紀が年々

多くなつて行くので平署で防に不良少年少女を狩を行
は殊に此の夏からは私服のふ相である家庭に於ても充
巡査を増して學生風紀の豫分と注意を要する事である



館旅屋田山町田植

山田屋旅館料理店

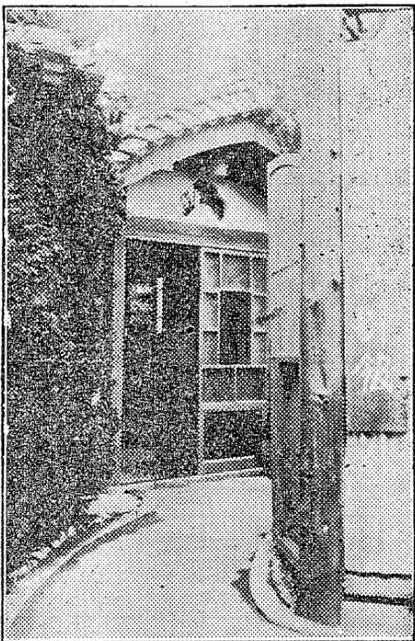
建築美に一段と趣を加へた
植田町で有名な
日本料理は料理人の庖刀のめ庭園の池には鯉鯉鯉數百
さへたのと座敷の氣分に重の大きなものが遊泳して見
きを置かれて居る、山田屋事である噴水の装置に色ど
の主人山下山田武助君は古り、の五月花が今を盛り
くから斯界の達者と知られに咲き競ふて客待ち顔であ
て居るだけあつて、腕達者本木の香新らしい清爽なこ
の同君は朝早くから客迎の座敷で、馴染の綺麗な妓
の準備に心を研き館内の掃でも呼んで一騒ぎしたら嘸
除も意を用ひ一品の料理にやと思ひ乍ら辭し去つた、
も自ら庖刀して夜遅くまで粹様方には是非一度は御訪ね
の大活動振り、とても他所を御紹介まで。
では味はれぬ長所を持つ山
田屋の山田屋たる所以の料
理の特長は是は我等が事新
らしく云ふ迄もない事だ新
築の別館も建築美の粹を極

おまけに浮つ調子の一般青
年と歩む道を異にしてゐる
ため存外認められずゐる
青年がおります。

初夏の氣溢れる 植田安田屋呉服店 夏物の大廉賣

御兄妹へ
六月九日にも同様送つた、
ため植田警察署長も同情し
て金品を送られたとか近來
このあはれな薄伴の子女の
の美談である。

單衣の事がそろ／＼頃見通しならぬ時である紹
氣にかゝる頃となつた呉服羽織地錦浴衣地等は人氣
屋の店頭も淡い夏物で彩りの焦点となつてゐる終りに
れて来た植田で、名高い安其勉強振りを見て貰ひたい
田屋も斬新な流行品を見るの事から店員一同か如才
から清涼の氣に満ちた陳列ない客の扱ひ振り氣持の
振り相變らず懇切丁寧を信好い店との大評判は植田町
條としての廉賣は確かに植に光を添へて素晴らしい景
田の名物殊に移りがへの此氣である。



(館別屋田山町田植)

粹様方のお氣にいる 待合 浮世

植田町で料理店の數ある中鮮魚の生のよいのと庖丁
で此の待合浮世は確に僕のものさしが自慢の此家は女將
イヤ諸君の意に適つた家だ迄が氣がきいて粹の粹たる
と思ふ洋食でも和食でもお氣轉をかかして居る主人公
好み次第、まづ座敷に上りの瀧秀夫君は仁俠に富んだ
込み緩く打寛ろいで瀧キキンの男の中の男で
生一本の御銚子でも傾けて氣待の好い快男子である地
居たら確に千金の價があら

て居るから今に目醒ましい
發展振りを見る事は受合
ある一般のお客には相變ら
ずコッタ珍らしい料理を提
供して喜ばれて居る又一
は看板に偽りなしを標榜し
て立つて居るだけ他とは類
を異にして初志を貫徹して
お悦び好いた同志の嬉し
其情調は三絃の糸の音に
つれて、浮世はなれては他
紹介まで、粹も無粹も御

植田者氣質

新開地と謂へば不仕駄羅な
氣分の持主の様に連想され
るものであるか植田の花街
に一度足を踏んだ人達は、
おそらく此處の藝者ばかり
はと意外に感ずる者も少く
ない相だ、それは、寧ろ不
思議など言ふ程、あまりに
豫想と事實とが掛け離れて
居る事に應々遭遇するから
である、元來昔から、かう
言つた新開地には所謂大人
方や歴々の方々が或る機會
に、おつれこみなるものが
少くない。自然土地の藝者
では顔よりも年よりも、一
番腕利がうれることになり
の、年の若い連中よりは
年増の方にその腕利なるも
のは、どうしても多い。姉
株の權威は此處に異彩を放
つ、未輩のおキヤンに至る
までが、どうしてもおしや
れや、お世辭だけではうれ
せられない、中でも感心さ
に熱心な事である、たちの
善悪は性分にもよることだ
が、皆んなと言ふ程皆んな
迄が揃ひも揃つて、熟達し
て居ることは、ちよつと、
そんなのそこの、まだ肩
上げもそれないくせに色氣
とか言ふものばかりに熟練
やりたくなる。

篤志青年と 孝行娘

約一ヶ月前
一生懸命勉強してそして偉
い人になつて御両親に孝行
をしなさいといつた迄も兄妹
仲よくおくらしなさい。
無名青年

御兄妹へ
ため植田警察署長も同情し
て金品を送られたとか近來
このあはれな薄伴の子女の
の美談である。

比類なき磐城出版界の霸王

磐城信用録發行に就て

本社創刊五週年紀念事業

磐城の近時政治上に經濟上關に、各其得意とする業務とするものなり、この精神に萬般の事業上極めて極要に従事しながら、爲めに種々の壯舉に對して御援助を與なる地位を占め、内外人士々の便宜と機會とを逸し互へられ上録各人の指計と紀より深甚の興趣と注意とをに尠なからず損失を招致し念のため座右に一書を備へ惹く活況を呈するに至れりて居るは何故ぞ、就中新事られん事を。

加之現代の社會組織は、復業を興起せんとするか如き雜多關鎖とに赴き郷土人將場合に於て然り本社は此處た各方面の事業として、親に着眼して最も正確に各階友奮明其所在明かならず又級を網羅して、恰も掌上を事業を共にして其經歷を知指すが如く此書に依り同胞らず、現時磐城の天地に於の親和を増し更に磐城の精て或は官界に或は商工界に華たる事業と人物を紹介し

◎本書完成したる上は各人指計の一大公器であり極



言すれば本社の大膽なる吹聴である。

◎本書は各階級を通じて上録する資産、信用調査報告である。

◎官界の人軍人及教育界宗教界、刀圭界、商工界に交通機關に青年團及各種團體其他名譽聲を網羅す

◎自家最善の武器に與信の意義ある本書を利用せられよ。

◎本書は赤裸々に大膽に遠慮會釋なく資産信用程度を公開す。

平町長橋町三〇番地
發行所
北實業新聞社

著者 吉村白水
後援 各知名

新聞記者諸君

第二病室増設
入院隨時

平町田町

高久病院

電話五一三番

院長醫學士 高久忠
副院長醫學士 赤羽清
新瀉醫學士 佐竹菊雄
藥劑局長 雄

福島縣平町
山崎合名會社
電話(營業部)一〇番
電話(醸造工場)二七番
振替東京一九七五五番

醸造元
上野車坂町四三
東京支店
電話(淺草)五七二八番
振替東京六八三二二番

實株は一株より懇切に迅速に御取引致します

駒場四郎商店
御一報次第直ちに御伺ひ致します何卒多少に拘はらず御用命御利用下さい

平町田町八番(電話四六五番)

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目
和洋銅鐵
金物問屋

釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯金口座東京一〇五九六

弊店の五大特色は
一、品質優良
二、價格最低
三、在庫豊富
四、出荷迅速
五、現金取引

醸造元
松吉屋本店
石城郡平窪村
電話二四一

内科、小兒科
花柳病科

入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話(平)五〇七番

胃腸内科専門
十二指腸虫科

平南町

松村病院

梅毒 淋病 婦人科 包莖 肛門者 専門

電話一〇七番